

## 競技注意事項(2026西日本)

- 1 本大会は、2026年度日本陸上競技連盟規則によって実施する。
- 2 選手変更は、8:30までに、総務に届け出ること。
- 3 ウォーミングアップ等は、補助競技場を使用すること。但し、投擲練習は禁止する。
- 4 招集について

- (1) 招集所は、スタンド下雨天練習場に設ける。
- (2) 招集時刻は、次のとおりとする。

区分	招集開始	招集完了
トラック競技	競技開始40分前	20分前
フィールド競技	競技開始60分前	40分前

- (3) リレーのオーダー用紙は、招集完了60分前までに、招集所に提出すること。
- (4) 棄権する場合は、招集完了時刻までに競技者係まで申し出ること。
- (5) 選手は、招集所にて本人がチェックを受けること。トラック競技に出場する選手は、腰ナンバーカードを受け取り、パンツ右側後方に付けること。その後、競技開始時間に合わせて、最終点呼を受けること。
- 5 5,000mは19分、3,000mは12分経過後に信号機で合図し、その時点で競技を終了する。
- 6 個人で持参する用器具の検定は、競技開始60分前までに、用具倉庫前(100mスタート地点付近)にて実施する。なお、棒高跳用のポール、現地とする。
- 7 滑り止め(炭酸マグネシウム)は、競技者個人が必要に応じて持参し、使用すること。
- 8 走幅跳・棒高跳のバーの上げ方は、次のとおりとする。

走高跳	(練習)	
中学男子	1m30	1m35-1m40-1m45-1m50-1m55-1m60-1m63 (以降3cm刻み)
中学女子	1m15	1m20-1m20-1m25-1m30 ~ 1m45-1m48 (以降3cm刻み)
高一男子	1m50	1m55-1m60-1m65-1m70 ~ 1m80-1m83 (以降3cm刻み)
高校女子	1m25	1m30-1m35-1m40-1m45-1m48 (以降3cm刻み)

※ 天候、その他の理由で変更する場合もある。

- 9 フィールド競技の計測ライン及び計測方法、決勝試技について
  - (1) 計測ラインは、特に設けない。
  - (2) 投擲種目は、1cm刻みで計測する。
  - (3) 投擲・跳躍種目での決勝ラウンド試技順序は、記録が下位の選手からとする。
- 10 競技会中に発生した負傷及び疾病について、主催者で応急処置は行うが、以後は各自・各校にて行うこと。(当日は、主催者で傷害保険に加入、熱中症は対象外)
- 11 その他
  - 選手等が競技場に入出入りする場合は、100mスタート・ゴール付近のゲートからのみとする。正面玄関の通行は禁止する。
  - 投擲種目に出場する選手は、競技役員の指示に従い、事故防止に留意すること。
  - ◎ 競技場内に入場できるのは、「選手・競技役員・補助員のみ」とします。